

No.17
2020.3

科学するよろこびとたのしさを



金沢子ども科学財団だより

新しい活動拠点で「子ども科学スタジオ」参加者5万人を達成

令和元年度は当財団にとっても激動の一年でした。改元間もない7月、財団事務所および物理・地学実験室と生物・化学実験室が、設立以来慣れ親しんできた西町教育研修館から、新装オープンした金沢市長土堀青少年交流センター3階に移転しました。また、これまで別々の会場で開催されていた、「子ども科学スタジオ」（旧菓子文化会館）と「算数・数学チャレンジクラブ」および「算数オリンピック支援講座」（旧玉川こども図書館）もそれぞれ長土堀青少年交流センターの1階交流活動室と3階の学習室を使って開催できるようになり、毎週末、大勢の子供達と保護者の方々に賑わいました。

そんな中、12月には財団事業の中でも最も低い年齢層を対象にした「子ども科学スタジオ」の参加者が、開設12年で5万人を超えました。当日は参加者全員に記念の認定書が渡され、副理事長の野口弘金沢市教育長よりお祝いの言葉をいただきました。

一方、令和元年度は熊、台風、そして新型コロナウイルスと、自然の猛威によって「子ども科学スタジオ」を始めとする多くのイベントを中止せざるを得ませんでした。4月からは、新年度のイベントを楽しみにしている多くの子どもたちに、これまで以上に科学の面白さを

体験してもらえることを祈っています。



令和元(2019)年度 実施事業の報告

おもしろ実験・観察教室

財団の実験室や野外での活動を通して、物理・化学・生物・地学の各分野の教室を実施しています。3年生と4年生は年12回、5年～中学生は年10回の教室を毎回募集して実施しています。子ども科学スタジオを卒業した未来の科学者の皆さんに参加していただき、実験や自然観察を楽しみました。これからも科学好きな子ども達にたくさんで参加いただければと思います。

3・4年生教室
香り物質(エステル)
を作ってみよう



最初は、酢のような匂いでした。作った後は、除光液のような匂いでした。難しい言葉もあったけどおもしろかった。

5年～中学生教室
電磁石とその身近な
使われ方



電磁石の実験をしておもしろかったし、仕組みもよく分かった。簡易モーターがめっちゃくちゃ速く回ったのでうれしかった。

特別講座
角間の里山自然探検
春教室



山菜やクロモジなど植物がたくさん採れてよかった。タケノコ掘りも楽しかった。

化石を探ろう
手取層



化石のことがよく分かった。掘り方やどういうものが化石なのかがも分かって楽しかった。

年間講座

● 児童科学教室

1年間の受講生を募集して開講している科学教室で、小学5・6年生対象の事業です。泉、中央、明成の3教室で195名の児童が学びました。

2019年度は、2月15日の修了式をもって終了しました。



● サイエンスクラブ

1年間の受講生を募集して開講している科学教室で、中学1～3年生対象の事業です。

今年度は38名の生徒が所属し、年間10回開催されました。指導員の先生方による実験や県外研修の他、自由研究に取り組んだり、大学で最先端の研究を学ぶなど、とても充実した活動となりました。



● 算数・数学チャレンジクラブ

1年間の受講生を募集して開講している算数・数学の教室で、小学5・6年生と中学生対象の事業です。

2019年度は、164名の小学生と87名の中学生が受講しました。今年も小学校から継続して受講する中学生が多く、中学1年生の受講者数が過去最高でした。

学校の算数・数学とはひと味異なり、「地図は何色でぬれるか?」「立体4目並べ」「クロスパズル」のように、制作活動やゲームやパズルなどを通して、楽しみながら知恵を絞り、頭に汗をかいています。「算数する心」や「数学する心」が育ってきているクラブ員が年々増えています。

【クラブ員の感想】

平面での4目並べだと、全体が見えて相手が次にどのような手を打ってくるか想像できるけど、立体4目並べだと見なければいけないところがたくさんあり、自分がどこに置けばいいか見当がつかなかった。並べ方が76通りもあるなんてびっくりしました。



【クラブ員の感想】

今日は、カプラを使って4写真を見て完成させる講座でした。それぞれが各情報を出し合っても、とても難しかった。はじめに完成させたものは、全然違っていました。最終的にも完成させることはできませんでした。それでも、違う学校の人と交流してわいわい楽しくできました。



科学 科学研究作品展

子どもたちが主に夏季休業期間中に行った研究の成果作品を展示しました。市内小中学校から小学生835点、中学生153点の計988点の応募がありました。

期間中、1,557人の参加者で賑わいました。

場所

長土堀青少年交流センター

期間

令和元年

11月9日(土)～17日(日)



【参観者の感想から】

- 友達の作品を見ることができてよかった。
- 大人でも「そういえば何故だろう?」と思う題材が多くあり、楽しかった。不思議だと思う子どもの素直さが良い。
- 子ども達の着眼点のすごさに驚いた。
- 毎年、アイデアいっぱいの作品を見て驚いている。
- 根気よく丁寧に観察していて感心した。
- いろいろな作品があり参考になった。来年からの研究に活かしたい。



科学 科学研究口頭発表会

子どもたちが自分の研究について口頭発表する会で、子どもたちの発表能力を育成し、さらにその発表へのコメントを得ることで研究発展への応用力を育成していこうとするものです。

発表会は17タイトル、21人の小学1年生～中学3年生が参加して行われました。

場所

長土堀青少年交流センター

開催

令和元年

11月30日(土)



【参加者、参観者の感想から】

- 少し緊張したけれど、質問にもしっかり答えることができた。自分の考えをみんなに伝えるのが楽しかった。
- 自分たちの考えに共感してくれた上で、次へのアドバイスを言ってくれたので、今後の研究につながった。
- 発想がすごく良い発表が多く、素晴らしかった。
- 発表後に一人一人にコメントが貰えて嬉しかった。(保護者)
- みんな堂々と発表していた。もっと多くの人にきてもらいたい。(参観者)

🌸 子ども科学スタジオ

未就学の年長児から小学校1・2年生の児童を対象に、科学実験や自然観察を毎週土曜日に年間42回を計画し、その内37回を実施しました。その結果、参加者は4,000名を超えました。

活動は毎週異なる内容で設定され、午前と午後の2回ずつ開催しています。スタジオでは身近にある物を利用したものづくりや、それを使った



科学遊びや科学的な内容についての実験などのほか、年5回野外での自然観察会も行いました。

内容としては、音・光・空気・水・力・化学変化・電気などによる身の回りの現象や、動植物・化石・宇宙などをテーマとしたいろいろな実験や観察を行っています。これらを通して、科学や自然のおもしろさ・不思議さを感じ、親しみをもちたいと願っています。本年度7月より、活動場所を長土堀青少年交流センターに移し、屋外の広場でのおびのびとした活動も実施することができるようになりました。



【利用者の感想から】

- パラボラでねつがけこう上がっておどろきました。クリームをつけてキッチンペーパーでみかくだけで、かんのうらをびかにできてびっくりしました。太陽光だけでなく、電気だってパラボラでおんどうが上がってふしぎでした。(小学2年生)
- 参加回数が増えるにつれ、分量通りの液体をピーカーに入れたり、かき混ぜたりする事が上手になってきたと思います。感想文を書くのも早くなってきて成長を感じます。(保護者)
- 子どもに分かりやすく、興味を示す内容で毎回楽しみにしております。(保護者)



● 子ども科学スタジオ・オープンスクール



保育園・幼稚園年長児や小学生を対象とした校外活動の一環として、平日に子ども科学スタジオで実験教室を行っています。

【利用者の感想から】

空気が何だろう?と考え、ありったけの表現で表わそうとしている子ども達の心をしっかり受け止めて下さり、とても分かりやすく進められて、私たち自身もとても楽しかったです。場所を移動したりして自由に空気を感じたり、巨大な空気砲へと興味が映っていくのも、子ども達の表情を見ているととても集中して自分なりに楽しんでいるのがよく分かりました。

🌸 交流事業

財団では科学やものづくりへの興味を持っていただけることを期待し、大学やその研究室、企業等の実施する社会貢献活動に協力・共同した科学教室や講演会等を開催しています。

今年度もテクノパーク科学教室(日機装「腎臓はどのようなはたらきをしているの?」、横河電機「スピーカーを作って音楽を鳴らしてみよう!」)などを開催し、多くの方にご参加いただきました。



🌸 科学相談

小学3年生から中学生を対象に、科学研究に興味を持ち、研究の進め方のアドバイスを受けられる「ジュニア科学者養成講座・中期」には5名の応募がありました。

また、夏休み中の学校に児童の科学研究の相談に出かける「出張科学相談」を6校10回実施しました。

加えて、保護者や児童生徒からの電話相談や科学相談は8回受けて、研究の方向性やまとめに役立ててもらうことができました。

【利用者の感想から】

- 私一人では難しい観察なども、顕微鏡やいろいろな実験道具をそろえて頂いたり、すぐにアドバイスをもらえたりして充実した自由研究になった。
- 4年生までの自由研究は独学で任せていたが、5年生では良い自由研究を作りたいと言っていたので、参加した。自由研究への取り組み方を学び、指導者の熱心な協力もあって、良い自由研究になったと思う。(保護者)

🌸 出前科学スクール

おもに保育園や幼稚園、小学校の保護者会などからの申込を受けて行う出前型の教室です。

今年もたくさんの方にご利用いただきました。



【利用者の感想から】

磁石であそぼう
磁石の不思議に興味津々でした。おもちゃを作った後、磁石のワニがどこに付くのかいろいろな場所を探していました。磁石に何でもつくと思っていた子もいて、木やプラスチックなど付かないものもあると知って驚いた様子でした。

🌸 特別事業

● ジュニア科学者養成講座 長期

子ども科学財団既存事業の児童科学教室、サイエンスクラブ、科学研究作品展、科学研究口頭発表会等に参加している子どもたちの中から、優れた科学研究をし、さらに深く研究したいという意欲を持つ子どもたちをバックアップする取り組みを実施しています。

期間は5月中旬から8月末まで、12単位・36時間を基本に、金沢大学大学院生や学生に指導をいただき、研究を深めました。

今年度は、小学生6名、中学生3名の応募があり、5月から研究を開始しました。市作品展では優秀賞4点、県作品展では特別賞（県知事賞1点）、優秀賞2点、また、全国展では日本学生科学賞で読売理工学院賞、シゼコンで佳作賞を受賞しました。



● 産業・文化・教育から科学を学んでみよう

金沢の文化・産業・教育の中からわたしたちの身のまわりにある科学を見つけ出し、科学だけでなく郷土の素晴らしい一面を学ぶ機会とします。

宗桂会館で、真鍮の板に銀線を打ち込み、オリジナルのキーホルダーを制作しました。伝統工芸体験を通して、加賀象嵌に潜む科学的要素を楽しむことができました。



● 金沢市長土堀青少年交流センター オープン記念事業

「子ども科学スタジオ」、「算数チャレンジクラブ」、「おもしろ実験・観察教室」、「児童科学教室」の中で開催された講座をブース形式で紹介し、2日間で合計302名の方に参加いただきました。

● 算数・数学オリンピック支援講座

毎年6月に行われる算数オリンピックや広中杯などに挑戦する志の高い児童生徒を支援します。年間11回行い、難問に挑んでいます。今年度のクラブ員は72名、算数オリンピック検定挑戦者は41名でした。今年度は残念ながら地方大会を通過し、ファイナル大会に出場できませんでした。あと、1点から4点という、とても惜しいクラブ員が4名いました。来年度こそはと、張り切って講座に参加しています。



【クラブ員の感想】

今日の講座の問題は、自分一人で頑張って解こうと最後までずっと考えていました。講師のアドバイスで初めから考え直してみると、間違えた考え方が分かり再び挑戦してみたら答えにたどり着くことができました。諦めないことが大切だと分かりました。

● SSH(スーパーサイエンスハイスクール)教室 WWL(ワールドワイドラーニング)教室

中学生向けの体験教室として、SSH指定校の金沢泉丘高校では理科で、WWL指定校の金沢大学附属高校では数学の分野で、それぞれのカリキュラムの特色ある講座を実施しました。WWL教室は数学チャレンジクラブの講座として行い、一般公募の中学生も5名参加しました。



この財団だよりに掲載している事業への参加者数などの資料は財団ホームページに資料編として掲載しております。併せてご覧ください。

財団では寄附を募集しております

当財団は、主に金沢市に在住する児童生徒等の課外における科学的な活動などを支援するとともに、その普及・発展に努め、科学の心を育むことを目的に、「児童生徒等を対象とした課外での科学に関する活動」、「児童生徒等の科学の心を育てるための普及啓発活動」、「科学に関する諸団体や国内外の児童生徒等との交流活動」を柱とした事業を実施しています。また、これら事業の高い公益性が認められ、「公益財団法人」として、平成23年4月より運営を行っております。

事業に必要な資金は様々な団体からの助成金や事業参加者からいただく参加費、そして財団が所有する限りある基金を取り崩して行っております。教育普及活動は一朝一夕で成果のあがるものではなく、長期にわた

り継続していくことでその効果が発揮できるものと認識しております。こうした意義ある事業を今後とも継続発展させ、一人でも多くの子どもたちの科学の芽を育てていくためには、多くの皆様方からの温かいご支援が不可欠と考えております。

なお、公益性の高い団体へ行われる“寄附”はその寄附者に対し、税制上の優遇措置が認められています。財団では、多くの方々からのご支持、ご寄附をいただき、もっと多くの子どもたちに事業へご参加いただける環境づくりのため前進していきたいと考えております。

以上、当財団の事業活動にご理解とご賛同をいただき、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

公益財団法人 金沢子ども科学財団だより

第17号

令和2(2020)年 3月発行

公益財団法人 金沢子ども科学財団

〒920-0865 石川県金沢市長町3丁目3番3号

Tel:(076)221-2061 Fax:(076)221-2062

メールアドレス kodomokagaku-z@kanazawa-city.ed.jp

ホームページ <http://www.kodomokagaku.or.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/kodomokagaku>

その他詳しくは、お電話でお問い合わせもしくは、財団ホームページをご覧ください。



金沢子ども科学財団

検索



長町3丁目3番3号